



# BAYSIDE PRESS

\*それぞれの初掲載記事は、神奈川新聞コミュニティサイト・カナロコ (<http://news.kanatoco.jp/serial/C117/>) で読むことができます。

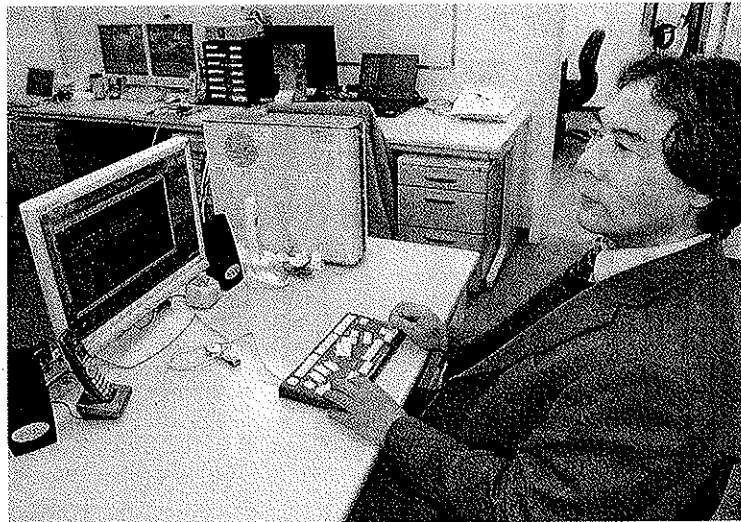
## ステップアップに向けて

BAYSIDE PRESS 06 06 15

ゲイトタイが 伝える喜び

DATA

●ナレッククリエイション  
2005年設立のITベンチャーで、ホームページに音声読み上げ機能を付加するサービスなどを手掛ける。第59回かわさき起業家オーディンオン大賞受賞(09年6月開催)。横浜西区高島2の6の38。☎045(307)9300。



「ユニバーサルデザインが浸透した社会」を目指し、ビジネスに取り組む新城社長

N T Tドコモの携帯電話「らくらくホン」の開発に携わったITベンチャー、ナレッククリエイション(横浜市西区)。ホームページ(H P)の文字を自動音声で読み上げる仕様にするサービスv d s (voice delivery system)が11月、横浜市の販路開拓支援新商品に認定された。コンサルタントの派遣や資金調達の支援が受けられる。

視覚障害者や漢字の読めない外国人などに有用なサービスだが、なかなか導入実績が上がらなかった。自らも障害のある新城社長(54)は、今回の認定を「会社のステップアップのきっかけにしたい」と期待する。

新城社長がv d sの事業を手掛ける中で知ったのは「社会に必要なもの」と「売れるもの」を隔て

る壁だった。v d sの導入を決める企業はCSR(企業の社会的責任)という観点に基づくケースが多い。「H Pのアクセス数が増える」など、P R面での直接的な導入効果を示すことが難しく、売り上げ拡大に苦戦してきた。新城社長は「音声読み上げ機能がついたH Pを通じて全ての人への情報提供を保証するというv d sの提案が、国内では広がりにくい」と感じていた。

それでも「企業努力として、より魅力的な製品に改良する余地はある」と前向きな姿勢を崩さない。このほど、製品やサービス数の増加に伴い、自社の事業を整理した。視覚障害者向け製品を提供するビジネスを収益の基盤と位置づけ、一方で、v d sなど企業や一般消費者を対象としたビジネスは成長

の軸とした。「一般の人に音声読み上げ機能の有用性を分かってもらう」ためだ。

視覚障害者にも活用できるよう、取扱説明書のイラストなどを文章に直す事業では、大手家電メーカーから受託した冷蔵庫の取扱説明書がまもなく公開される。「必要なだけではなく、欲しくなる製品」とは。

社会の課題をビジネスで解決する経営者として、地道に、着実に歩み続けている。

(敬称略)

